

伊野写真ニュース3号

こんな道あったの？

伊野発見を楽しむふるさとウォーク

子どもたちに伊野を知ってほしい。大人たちにも伊野を再発見してほしい。こんな願いをこめて、6月18日(日)、伊野ふるさとウォークが開催された。

伊野コミュニティセンターから伊野本線を北上し、金森町内株が床入り口から旧道を通って東地合にぬけ、帰りは秋葉山の西側を通り畑町内・大畑町内にぬけてコミセンに戻るという約10キロのコース。東地合では子安観音のいわれを聞いたり、かつて町内の主要産業であった養蚕の話を松本宅で聞いたりした。

参加したのは、幼児から80歳台の女性まで24人。伊野バージョンスタッフ(島根大学教育学部学生)も5人参加した。



▲東地合にぬける旧道(株が床)を上る



▲穴道湖を眺望できる畑町内を下る